

中期における数値見通し (2024/3期～2026/3期)

2023/2/15

株式会社サニックス

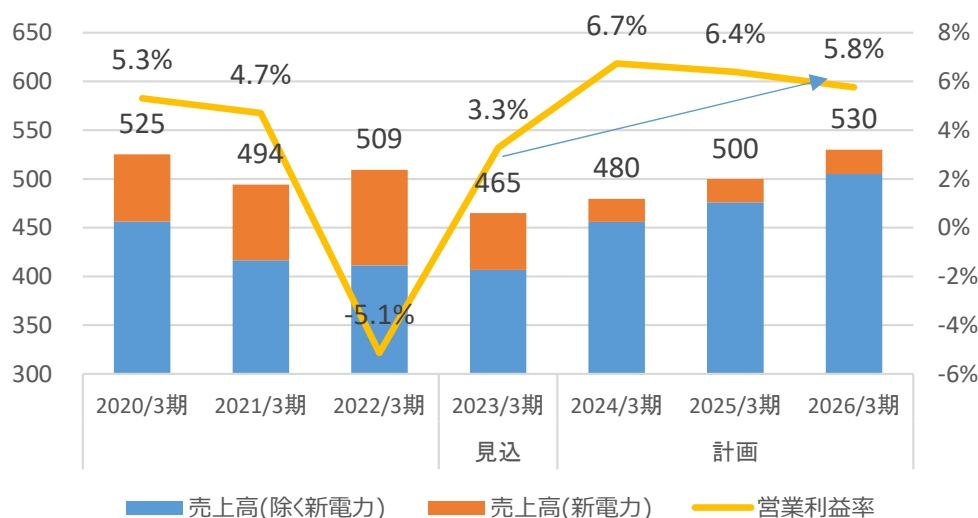
	2023/3期 見込	2024/3期 計画	2025/3期 計画	2026/3期 計画
連結売上高	465億円	480億円	500億円	530億円
連結営業利益	15億円	32億円	32億円	30億円
EBITDA*	33億円	48億円	49億円	50億円
ROE	17.9%	35.0%	24.0%	16.0%
ROIC	6.9%	14.0%	12.0%	10.0%
自己資本比率	17.2%	22.0%	27.0%	30.0%

* EBITDAは「営業利益 + 減価償却費」

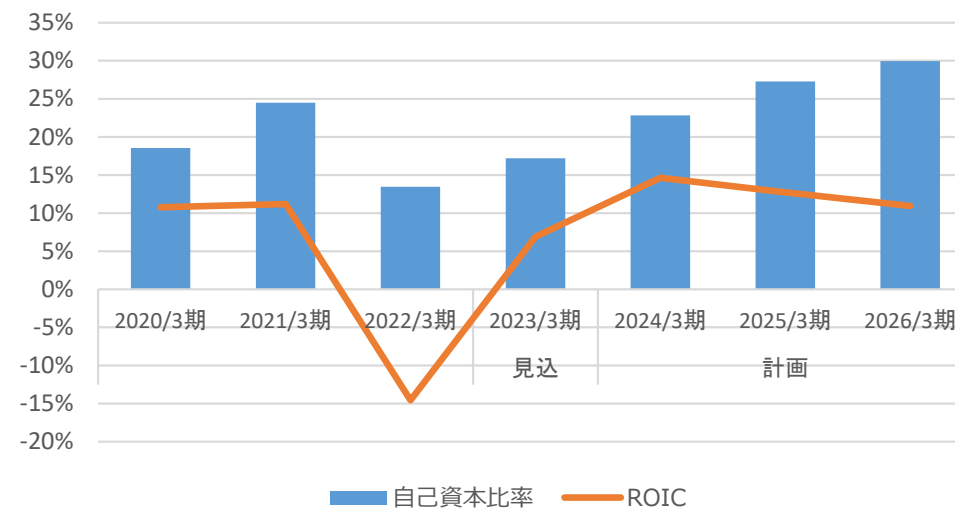
(単位：億円)

連結売上高、営業利益率推移

新電力事業を除いた売上高について、年平均成長率7.4%を計画

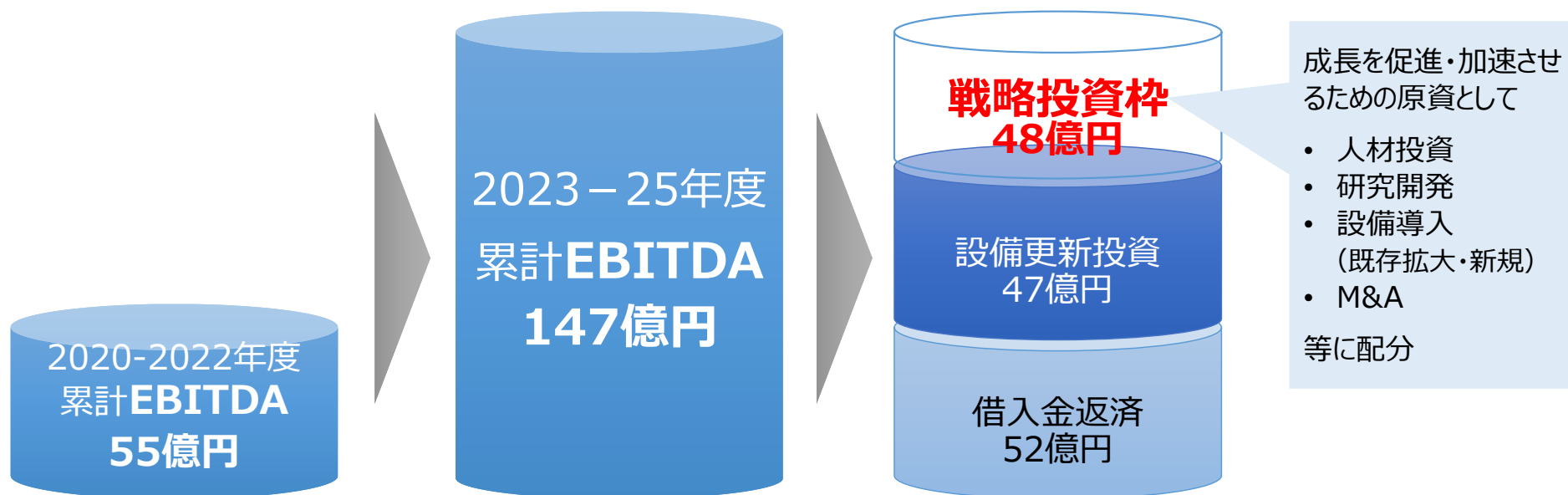


ROIC、自己資本比率



資源配分

- 本計画期間において、事業全体の「稼ぐ力」を強化し、EBITDA累計は147億円となる見込み
- 借入金返済・設備更新を除く部分については、戦略投資枠とし、成長の原資として配分



住環境領域の成長戦略

	2023/3期 見込	2024/3期 計画	2025/3期 計画	2026/3期 計画
連結売上高	163億円	173億円	183億円	193億円
HS	120億円	128億円	134億円	140億円
ES	24億円	26億円	28億円	30億円
SE	18億円	19億円	21億円	23億円
連結営業利益	16億円	22億円	23億円	25億円

自社の強み

- お客様との継続的な取引関係をベースとした安定的な収益基盤
- 高い営業力と施工技術力を併せ持つ人員体制
- 地域に根差した営業拠点網

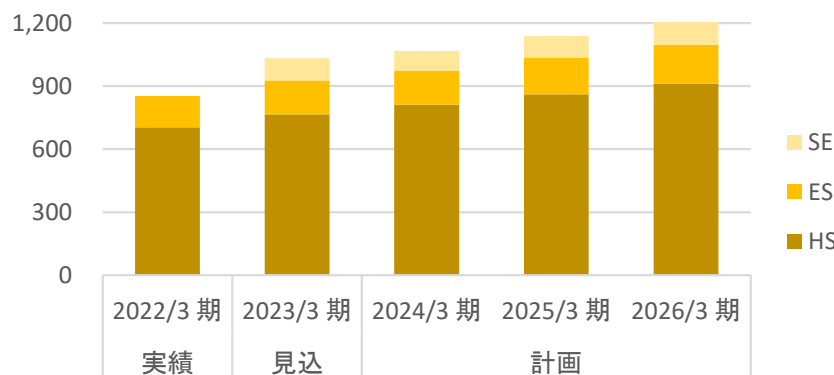
外部環境

- 優良な住宅ストックの形成に向けた政府方針
- コロナ禍を経て生まれた住宅メンテナンス・衛生環境に関する需要の拡大
- 電気料金の高騰、環境意識の高まりから住宅用太陽光発電設備のニーズが拡大

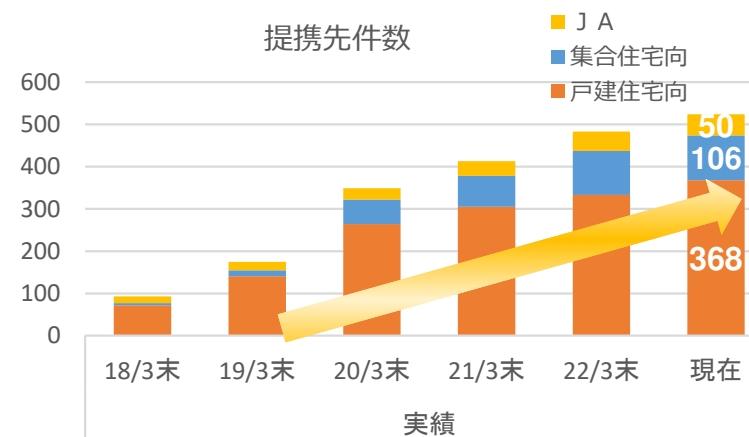
成長戦略

- 人員確保と育成強化による営業力・サービス品質の向上
- 中長期を見据えた新規顧客開拓への注力（提携先拡大による新規顧客チャネルの拡充、営業体制の整備）

平均人員推移



提携先件数



提携 JA

50 JA

集合住宅向 提携

106 法人

個人顧客向 提携

368 法人

エネルギー領域の成長戦略

	2023/3期 見込	2024/3期 計画	2025/3期 計画	2026/3期 計画
連結売上高	138億円	124億円	146億円	165億円
PV	80億円	101億円	122億円	140億円
新電力	58億円	23億円	24億円	25億円
連結営業利益	0億円	1億円	4億円	9億円

自社の強み

- 太陽光発電システムの開発製造・販売・施工からメンテナンスまでの一貫したサービス提供能力
- 電力の知見を活用した最適な自家消費提案能力
- 豊富な有資格者、技術者による高い施工品質
- 約29,000件に及ぶ事業用太陽光発電所建設実績

成長戦略

- 再エネ電源を必要とする電力事業者向け電源（太陽光発電所）開発の強化
- 脱炭素の取組を強化する法人・地方自治体への太陽光発電設備設置提案強化

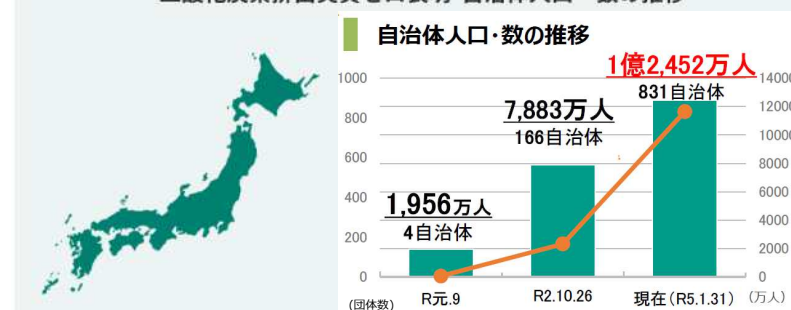
「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」太陽光発電設備（一部）



外部環境

- 再エネの需要拡大に伴う電力事業者等の再エネ電源ニーズの高まり
- 企業におけるGHG排出量削減や、地域でのゼロカーボンシティに向けた取り組みが本格化
- 電力料金の高騰と太陽光発電設備のコストダウンによる設備導入効果の向上

二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体人口・数の推移



出所：環境省ホームページ

資源循環領域の成長戦略

	2023/3期 見込	2024/3期 計画	2025/3期 計画	2026/3期 計画
連結売上高	163億円	181億円	170億円	170億円
プラスチック燃料	104億円	104億円	107億円	109億円
発電所売上	30億円	48億円	34億円	30億円
廃液処理	20億円	21億円	23億円	25億円
埋立処理	8億円	6億円	6億円	6億円
連結営業利益	29億円	36億円	29億円	21億円

自社の強み

- 廃プラのみを燃料とした特徴的な資源循環型発電モデル
- 全国15カ所の廃プラスチック中間処理網による収集量
- 実績に裏付けされた高い燃料化・リサイクル処理技術

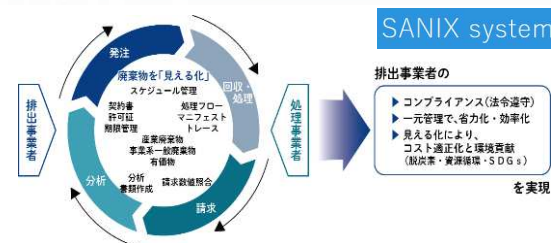
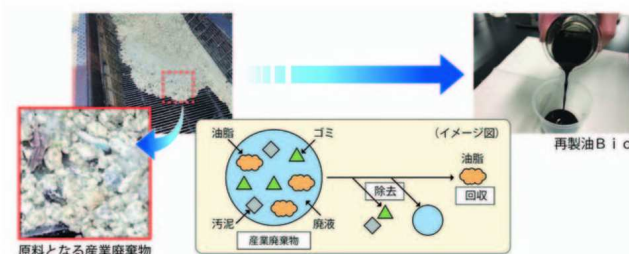
成長戦略

- 処理品目の拡大による搬入量の拡大
- 燃料化・リサイクル技術の向上（廃液由来の再生油Bio、乾燥汚泥燃料、プラスチックのマテリアルリサイクル）
- サニックスシステム活用による廃棄物処理のネットワーク化や適切な廃棄物処理・リサイクル方法の提案
- 24年3月期以降、電力市場単価の高騰を背景に、発電所における売電単価の水準が上昇
- 一方で、稼働開始から20年以上が経過する苫小牧発電所を中心に、今後の中長期的な安定稼働にむけた本格的な設備更新を複数年に渡り実施予定

外部環境

- 企業のGHG排出量削減のための再生燃料需要拡大
- 製造業を主としたリサイクル比率向上に向けた取組み拡大
- 地域における適切な資源循環システムの確立が求められる

産業廃棄物から製造した再生燃料『再生油Bio (バイオ)』



中期における数値見通し 【まとめ】

	2023/3期 見込	2024/3期 計画	2025/3期 計画	2026/3期 計画
連結売上高	465億円	480億円	500億円	530億円
住環境	163億円	173億円	183億円	193億円
エネルギー	138億円	124億円	146億円	165億円
資源循環	163億円	181億円	170億円	170億円
連結営業利益	15億円	32億円	32億円	30億円
住環境	16億円	22億円	23億円	25億円
エネルギー	0億円	1億円	4億円	9億円
資源循環	29億円	36億円	29億円	21億円
配賦不能	△30億円	△27億円	△26億円	△25億円
自己資本比率	17.2%	22.0%	27.0%	30.0%

【免責事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とし、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

【見通しに関する注意事項】

本資料には将来についての予想や見通しが含まれておりますが、これらは当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、経済動向、環境関連の政策、為替相場等の動向により変動することをご了承下さい。

次世代へ快適な環境を
SANIX